

睡眠姦の話のCG集。 卍

基本CG10枚 差分12枚

寝ている間のそのムチムチの体を
犯しつつくす、くす、くす。



睡眠姦の話。



俺はとある学校の学生だ。俺には
気になる同級生がいる。何としてもその女性を
抱きたいと考えている。そのために、。



「おはよう。●君。」
「あ、うん、おはよう。」
○○さんは俺が気になっている女性だ。
地味で目立たないけど、あのムチムチでいやらしい体、
犯したい。





○○さんは俺のことを信用しているようである。
時々家に行つて勉強を教えてもらつたり、遊んだり
してくれる。今日もこれから○○さんの家に行つて
勉強を教えてもらつ、、、。その後は、、、。





「君、すごいね。どんどん成績よくなってるじゃない。」
「いやあ、○○さんの教え方が上手いおかげだよ。」
今日も○○さんの家で勉強を教えてもらった。○○さんは俺に対して完全に気を許している。そんな○○さんの気持ちを裏切って俺は○○さんの飲み物に睡眠薬をこっそり混入させた。そして、眠っている○○さんの体をめちゃくちゃにする、、、。





「ん。」
「どうしたの？○○さん。眠いの？」
「うん、うん。何だかとても眠いの。○○○○」
「どうやら睡眠薬が効いてきたようである。」
○○さんそのままベッドで眠りに落ちた。○○○○







「すう。。。すう。。。」
「○○さん。寝ちゃったの？」
「○○さんの反応はない。」
「ねえ、○○さん。早く起きないと俺が○○さんの
体をめっちゃくちやにしちゃうよ。いいの？」
「やはり○○さんの反応はない。俺は○○さんの
体にむしやぶりつくチャンスをした。」







次に、俺は〇〇さんの下着を脱がして〇〇さんの
アソコにむしやぶりついた。……。
「あ、はあ、♡」
「ああ、〇〇さんのマンコ、す、す、す、いい匂いがする……。
美味しい……。ずっとむしやぶりにいられる……。」「
ここまでしても〇〇さんは起きない。感じては
いるようだ……。」





「はあ、はあ、。○○さん、。。」
そして、いよいよ○○さんのアソコに挿入しようとする、。
「ねえ○○さん。俺の、。○○さんのアソコに入れてもいい？
返事しないと入れちゃうよ？」
当然○○さんの返事はない。俺は○○さんのやわらかいアソコに
挿入した、。、。





「んっ、♡は、♡あ、♡」
「ああ、○○さんのアソコの中、すっごく気持ちいい……!!」
俺は○○さんが起きてもおかしくなくらい激しく○○さんの
アソコに自分のモノを又チュ又チュと突き入れた。
「ああ、で、出る、ねえ、○○さん、出していい!?!このまま中に出していい?!
返事しないと出しちゃうよ……」
返事のしようもない○○さんに意味のない問いかけをして、そのまま俺は果てた。



「……」





「はあ、はあ、こんなに出してしまった、綺麗にして元に戻さないと、」
俺は〇〇さんの中に何度も中出ししてしまった。それでも〇〇さんは起きない。今のうちに彼女の姿をもとに戻して、また眠らせて俺の性欲処理をさせよう、

この度は当作品をご購入くださり、ありがとうございます。

睡眠姦の話です。100円タイプの作品です。同時に公開された作品の関連作品となります。もし気になる方がおりましたらご確認ください。合わせて6作品を公開予定です。s

睡眠姦関連作品(公開予定含)
ep
eq
er
es
ji
jj
j05
jl
jm
jn

当サークルホームページ等専用のページを開設致しました。これらにおいても創作活動を行っておりますので、よろしければご確認ください。

Blog:<https://sssss.fc2.xxx/>

Pixiv:<https://www.pixiv.net/users/46460147>

Ci-en:<https://ci-en.net/creator/4749>

Fantia:<https://fantia.jp/fanclubs/27877>

※当サークルの作品は全てフィクションです。実際に行うと法律によって処罰される可能性があります。

※当サークルの全作品の無断転載(購入されてない方が閲覧できるようにする)等の行為はご遠慮願います。ご協力の程、よろしく願います。